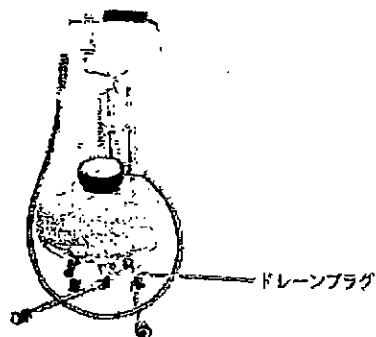


使用方法

④使用後はタンクの内圧が下がります。必要に応じスタンドへセットしてタンクに空気を再充填してください。

※タンク内には充てんされた空気に含まれる水分がたまります。一日に一度は必ずタンク下部のドレーンプラグを緩めてタンク内の水抜きを行ってください。

※ドレーンプラグはゆっくりと緩めてください。一気に緩めるとドレーンやエアが急に噴き出し危険です。また、水抜き後は確実にドレーンプラグを閉めてください。

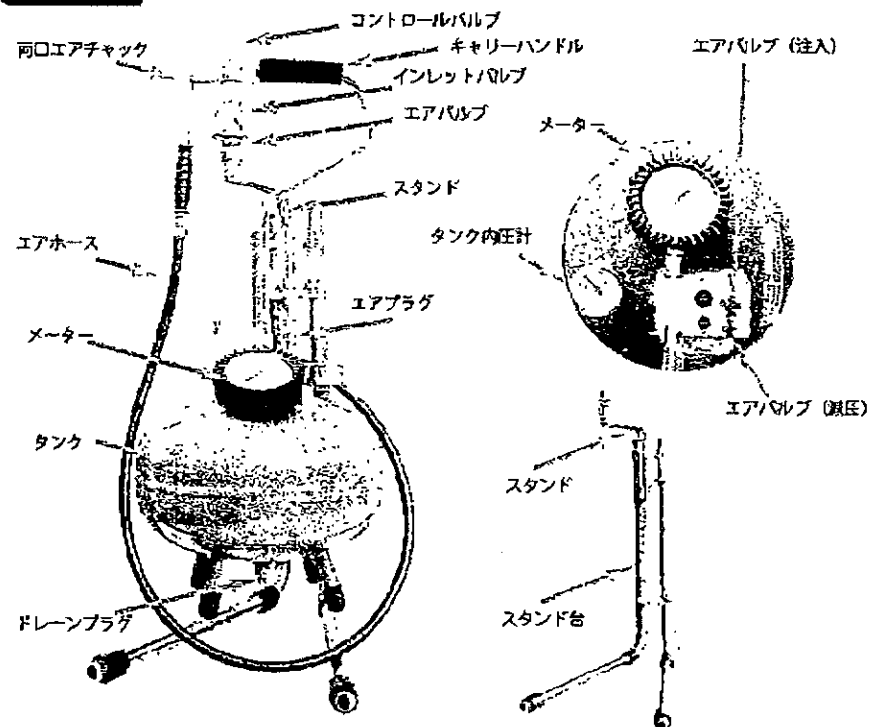


⑤夜間や休日、長期間使用しない場合はスタンドのエアホースを外して空気の供給を止め、タンクのドレーンプラグを開いてタンクの内圧を抜いてください。

10L ポータブルエアタンク 取扱説明書

このたびは NV50028010L ポータブルエアタンクをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご利用ください。
お読みになったあとは、いつでも本書を確認できるよう大切に保存してください。

各部の名称



商品仕様

最高使用可能圧力: 1000Kpa

本体寸法: 高さ 670mm × 幅 300mm 本体重量: 約 9 kg

タンク容量: 10L

エアホース長さ: 約 12m

エアチャック: 両口スリムタイプ

●はじめに

本書は、お使いになる本製品の正しい使用方法とご使用上の注意について説明したものです。この説明書を読む前に本製品の解作を行わないでください。特に、注意事項を熟読されると共に、常に手元においてご利用ください。なお、ご使用中に不明な点、不具合などありましたら、お買い上げの販売店までご連絡ください。

●用途・使用の目的

本製品は、二輪車・軽自動車・普通乗用車のタイヤ空気圧調整用のポータブルエアタンクです。タンク内にエアを充填し、本体を車の所まで持ち運んで作業が可能です。簡単な操作で、誰にでもタイヤの空気圧調整作業を行うことができます。タンクへのエアの充填は、付属のスタンドにセットしておくだけで自動的に補充されます。

安全上の注意・警告 必ずお守りください。

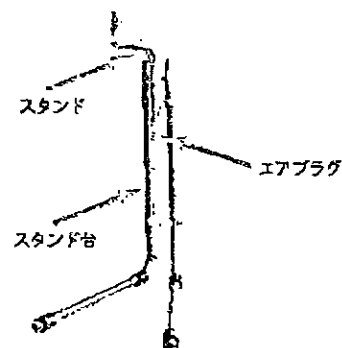


この警告を無視し誤った使い方をすると、死亡や重症などの重大な事故に結びつく可能性があります。

- 本製品はタイヤの空気充てん専用用品です。他の用途には絶対に使用しないでください。
- 本製品は測定機器のため、乱暴に扱ったり、衝撃や物をぶつけるなどは避けてください。正しい測定が行えなくなる恐れがあるとともに、タンクの破損やタンク内のエア一噴出など思わぬ怪我や事故につながる等の原因となりたいへん危険です。
- 長時間使用しない場合は、スタンドのエアチェックからエアホースを外し、エア一の供給を止めて保管してください。
- 本製品に供給する空気圧は1000Kpa未満にしてください。コンプレッサーの供給圧力が1000Kpaを超える場合には、必ず減圧弁等を使用して1000Kpa未満に調整をしてください。
- 子供には操作をさせないでください。
- 本体や付属品に異常・損傷などがある場合は絶対に使用しないでください。
※思わぬ怪我や事故につながる可能性があります。ただちに使用を中止し、お買い求めの販売店へご連絡ください。
- 本製品を設置する際は、平坦で周囲の邪魔にならない場所に設置してください。
- 本製品を付属のスタンド台を使用せずに壁面へ直接スタンドを取り付ける際は、強度の確保された壁面及び柱等に確実に固定してください。
- 本製品は出荷時にメーカーにて調整が行われています。分解・改造は絶対に行わないでください。

●使用の前に

- 下図を参考にスタンドをスタンド台に取り付けてください。
※スタンド台を使用せずにスタンドを壁面や柱に取り付ける場合は、必ず強度が確保された場所に取り付けてください。
※設置場所は通行や作業の邪魔にならない場所にしてください。



- スタンドのエアカプラーにエアホースをつないでください。
※本製品に供給する空気圧は1000Kpa未満にしてください。コンプレッサーの供給圧力が1000Kpaを超える場合には、必ず減圧弁等を使用して1000Kpa未満に調整をしてください。
※タンク内の爆発の発生を防止するため、必ずコンプレッサーの水抜きを定期的に行ってください。

●使用方法

- ①スタンドにポータブルエアータンクをセットしてください。
タンクにエア一が充てんされます。タンク内の圧力が規定値に達すると、充てんは自動で停止します。(1000Kpa)
- ②ポータブルエアータンクをスタンドから取り外し、タイヤの空気圧を調整します。
※エアチェックはタイヤのバルブに対してまっすぐにしっかりと押しあててください。
- ③空気圧は本体のメーターで確認することができます。
空気を充てんする場合は+エアバルブを操作し、空気圧を下げる場合は-エアバルブを操作して車両ごとに定められた空気圧に合わせてください。

